

次月活動予定

7 月

- 3 日 栃木県立宇都宮南高等学校講演  
4 日 再乱用防止教育事業県北  
5 日 榛名女子学園薬物依存離脱指導 宇都宮大学講演  
6 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導  
7 日 平成 30 年度こころの健康フェスティバル  
9 日 東京保護観察所プログラム  
10 日 宇都宮保護観察所プログラム アルコール関連問題研究会  
11 日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導  
12 日 榛名女子学園薬物依存離脱指導 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター  
県北家族のつどい  
13 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導  
14 日 家族教室 再乱用防止教育事業県央  
17 日 依存症研修会 再乱用防止教育事業県南  
20 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導  
22 日 茨城ダルクフォーラム  
26 日 榛名女子学園薬物依存離脱指導 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター  
宇都宮保護観察所プログラム  
27 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導  
8 月  
1 日 再乱用防止教育事業県北  
3 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導  
6 日 アディクションフォーラム実行委員会  
7 日 宇都宮保護観察所プログラム  
9 日 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター  
10 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導  
11 日 家族教室 再乱用防止教育事業県央  
13 日 東京保護観察所プログラム  
14 日 アルコール関連問題研究会運営委員会  
20 日 治療共同体研究会

発行所

郵便番号一五七〇〇七二 東京都世田谷祖師谷三一一一七七一〇二号  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 100 円

編集 特定非営利活動法人栃木 DARC  
〒320-0014

栃木県宇都宮市大曾 2-2-14 形松ビル 3F  
TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

URL <http://www.t-darc.com> Eメール: nesm@t-darc.com

SSKO

栃木 DARC

ニューズレター 第 183 号 (2018, 7, 8)

Grow up!!  
Drug Addiction Rehabilitation Center  
DARC

2018 年 6 月 18 日 (月) 下野新聞掲載

2018年(平成30年)6月18日(月曜日) 下野新聞

15~64歳全国調査

# 大麻経験推計130万人

## シンナー超え最多薬物

大麻を使用した経験がある人の割合は1・4%で、15~64歳の人口に換算すると推計133万1765人に上ることが17日、国立精神・神経医療研究センターによる全国調査で分かった。シンナーを含む有機溶剤を初めて上回り、乱用薬物では最多となった。若年層に使用を容認する考えが広がり、有機溶剤や危険ドラッグが減少する中、大麻は前回調査から0・4%増(約38万人)増と伸びが際立っていた。規制が強化された危険ドラッグから移行する流れがあると考えられる。

### 際立つ伸び、若年層浸透

成分を濃縮した大麻ワックスも押収されており、厚生労働省の麻薬取締部は取り締まりを強化。野外の音楽イベントなどで高校生らがやりとりしていたケースもあり、警察による大麻事件の摘発者も昨年3千人を突破した。

大麻使用を誘われたことがあると答えた人の割合は前回から0・9%増の2・9%と、覚醒剤や危険ドラッグの3倍に相当。20代や30代では3%を超える人が誘われた経験があったとした。

| 薬物          | 使用経験率 | 経験者数      |
|-------------|-------|-----------|
| 大麻          | 1.4%  | 133万1765人 |
| シンナーを含む有機溶剤 | 1.1   | 103万7404  |
| 覚醒剤         | 0.5   | 50万1208   |
| コカイン        | 0.3   | 26万1761   |
| MDMA        | 0.2   | 14万7657   |
| 危険ドラッグ      | 0.2   | 22万2290   |

※国立精神・神経医療研究センター調べ

大麻の使用を「少しなら構わない」「個人の自由」と回答した人は10~30代で2・3~5・0%で40~60代を大きく上回った。調査を担当した同センター精神保健研究所の嶋根卓也(しまね たくや)研究室長は「若年層への浸透は想像以上。この世代への乱用拡大が懸念される」と分析している。

使用経験を地域別にみると、1・9%の関東、1・6%の近畿、ともに1・4%の北陸(新潟、富山、石川、福井)と北九州(福岡、佐賀、長崎、大分)の順番だった。

## 現状報告とこれから

2<sup>nd</sup> StageCenter 施設長　秋葉紀男

梅雨明けを感じさせるような暑い日が続いたと思ったら急に涼しい日が続いたりと何かと体調管理が大変な今日この頃ですが、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

この前年が開けたと思っていたら季節は夏になり下半期に突入してしまいました。時間の流れが歳をとるにつれて加速している感じです。そして今日も私は愛も変わらず「今日一日」施設で仲間と共にプログラムを続けています。

今回は私が担当している 2<sup>nd</sup> StageCenter の現状を報告がてら書きたいと思います。おかげ様で 2<sup>nd</sup> StageCenter（以下 2 sc）は今年の 6 月で丸 2 年を迎えることができ、6 月には 2 sc から初となる修了生も出すことができたことや引き続きこの後も今年中に修了できそうなメンバーがいてこの先も楽しみにしています。

現在 2 sc では 12 名の仲間がプログラムを受けています。2sc と言ってもプログラムを受けている全員が Stage2 というわけでわなく Stage1 と Stage3 も現在プログラムを受けています。

Stage 1 がなぜ居るのかと言うと、1<sup>st</sup> StageCenter（以下 1 sc）が県北地区にあり出身や生活拠点あとは実家があり家族が県北に居るとなると 2sc から Stage1 を実施することになります。このケースは使用薬物はあまり関係なく初期のプログラムでは施設を出たくなる場合がありますその時に実家や生活していた場所が近いと実行に移しやすいことがあるのでなるべく離れている場所がいいことから 2 sc から初期のプログラムを開始する場合があります。ただこのケースはあまりなくこの 2 年で 2 名の対象者がいるくらいです。基本は 1 sc からになり Stage 1 が修了したメンバーが移動してくるのが通常の流れになります。

Stage 3 の場合は、3<sup>rd</sup>StageCenter が県央宇都宮にあるため地元が宇都宮だったり、宇都宮に悪影響を及ぼす友人や知人がいるケースがほとんどで、本人からの申し出であり栃木ダルクの職員が会議で話し合い県南での社会復帰の方が本人の回復にとっては良いのではないかと決まったメンバーが 2 sc での Stage 3 就労が認められます。このケースは意外と多く現在 5 名のメンバーが各々 Stage 3 のプログラムと就労をしています。

ひと昔前までは地元じゃ回復しないとされていて、私がまだメンバーだった頃は栃木出身のメンバーは今現在よりは少なかった様に思いますが、現在は栃木出身のメンバーの方が多くなっている様に思います。確かに使っていた地元に戻るのはプログラムの的には危険です。ですが栃木ダルクの職員も代表を含め栃木出身が多いことから地元だからといって絶対にダメというわけではないということなのかなと思います。ただ本人がより安全を求めていく上で栃木ダルクの場合女性施設は別ですが、男性施設は CF を含めると 4 施設あるのでプログラム修了の形も職員から見て選択肢が広げられるので良いなと思っています。色々な選択肢の中で本人にあったプログラムの提供をできるのも栃木ダルクの強みだと思いますし本人にとっても良いと思っています。

ですがまだまだ足りないところがあり補わないといけないこともあると思うしその事については職員同士で話し合い補って行きたいと思います。

これからも栃木ダルク一同回復支援に努めて参りますのでよろしくお願いします。

## 部屋と酒と私 PART3

アディクトのナカ

こんにちは。アディクトのナカです。1 年ぶりのニュースレターとなります。

今、私の居る場所は、前回 PART2 で書いた時と同じく那珂川の施設に居ます。今は前と違った生活をしていて（農作業はやっている）ちょっと苦しく（笑）なったかもしれません。まあ、これには少しわけが有りまして自分では少し参っています（汗）ここに来るのに結構ガンバッテ来たのに・・・！！なんか疲れちゃった（笑）。何か目的を作らなくてはいけないと思い、いろいろな事を考えました。1 つは音楽を楽しむこと（CD とかをかう）1 つは植木の苗とかを買って育てること。あとはまだやってない事がある（汗）まっ後の事は、これからやって行けば良いかなんて思っています（笑）。さてこれからどうしよう・・・書く内容が無い！！もう PART1、2 で自分の内容を書いてしまった！愚痴ならいくらでも出て来るんだけど、前の様にはうまく行かなくて困っているんです（笑）。でも、楽しみって見つかるの大変なんですよ。ここ那珂川って山で囲まれていて特に何があるわけでもないの・・・まっ確かに車で外に出れば店とかあるけれども・・・（汗）と、まあこんな具合だけでも悪い所ではありません。周辺の景色がキレイなのでとても気持ちの良いところです（笑）。それと最近猫の赤ちゃんが産まれたんです。四匹も・・・（笑）それがちっちゃくてとてもカワイイんですよ。この子達を見ながら私も成長していこうかなと思います。

今、自分は精神状態が非常に不安定で情緒不安定な日々を送っています。何故にこうなったのかはわからないのです（汗）。薬が合っているのか、合わないのか、自分の体に聞けっという所ですね。なかなか主治医の先生は薬を減らしてくれないし・・・。今この文を書いている最中にもうるさくされるし、頭の中がゴチャゴチャになってしまう。かなり煮つまってきっていて、自分自身がやらなくてはならない事はわかっているのに、安定してから始めるか、早めに始めるかが問題です。最近、落ち込みが激しい・・・こんな時にニュースレターを書けなんて言われてたって書けやしない・・・無理して書いている様なもんだ！！私はアルコールに問題があり 3 年半前に入寮して、その 1 年半後に那珂川 CF に施設移動しました。そして約 1 年後に野木 2 SC に移動してその約 3 ヶ月後にやってしまいました（酒）。そしてまたもや移動で 5 ヶ月ほど那須の初期施設に行きました。そこでは前にも居たせいか楽しく勉強をしました。サポートもやり充実した日が続けていました。前の様に行けば大丈夫だと思いやってみました（汗）。ところが事情が変わっていてそれどころではありませんでした。所々、同じ点はあるものの、前にやっていた事が通じないのです。しいて言えば前よりしっかりしていて自分でもビックリしました（笑）。それでも私はしっかりしている事は良い事だ！と思いガンバッテやりました。いろいろな問題があり、やって行くのに意欲を感じるようにもなりました。一番難しい？でも楽しい（笑）一週間のメニュー決めでしたが、いろいろな本を見たり、以前に使われていたメニューを見て決めていました。何が楽しみかという、私は以前は飲食店で働いていたので、料理をするのが好きなのです。いろいろな料理を考えて自分で作るのも好きだし、食べるのも大好きです（笑）そのおかげで困ったことに体重が増えてしまって迷っています。その事もあって体が動かせる施設がいいと思い、再び今の施設へ移動させていただきました。そんなこんなで今は那珂川 CF に居ます。これからまた暑い日々が続くと思いますけど、これからの私はガンバッテ行くつもりです。以前の文章よりおかしい文になってしまいましたけど、読んでくれた方、ありがとうございます。



## 「こいつら」から「仲間」

依存症のテル

久しぶりの NL です。何を書こうかな～って考えていたら、正に十人十色の仲間達の顔しか浮かんでこない。その強者達あつての今だと改めて感じていたら、僕が感じて来た仲間間の話をしようかとぼやっとイメージしています。那須の 1sc に入寮して 2 年が経ちます。2 ヶ月でサポートになり 4 ヶ月でリーダーになり 1 年でチーフをやらせてもらい現在は宇都宮の 3sc でプログラムを受けながらヘッドオフィスで四苦八苦していますが、今は新しく選んだ生き方を楽しめています（これ本音！）入寮当時、メンバーだった頃は仲間意識なんて全く無く、気の合う仲間といつもいて、そつなく生活していました。僕の場合、仮釈放中だったので退寮したいという願望も無く満期まで栃木で遊んでいるか・・・くらいの思いでした。施設の決まりも守っていた方だと思います。なぜ守っていたかというところ「こいつらに言われたくねえ～」それだけです。次第に

生き方の癖も抜けないので役割をしている仲間の失敗をインプットしていくんですよね。何か言われた時の為にひっくり返す材料集めです。勿論、悪循環ですよ（苦笑）仲間との関係は勝つか負けるかでしたし、重大な問題がむき出しになりました。感情を抑えきれないので、ズタボロになりましたね。暴言、暴力が止まらない。しかもその対象は「こいつら」です。なんで「こいつら」に自分がムキになるのか分からない。しかもそうなる経緯には僕なりの正義もあるのでどうしたら良いのかが分からないし、どうなりたいのかも分からない。でも後悔し囚われる。その囚われは感情が爆発するたび大きくなっていく。末期の頃は涙も流しました。そんな自分と向き合った時になんとなくですが変わりたいのかな～という気持ちに気づきました。けれど皆さんも同じでしょうが、そう簡単には今まで大好きだった自分は変えられずに問題は多かったですね。入寮してどのくらい経った時かなあ～僕の中で変わり始めました。自分が持てない優しさ、思い、能力などを備えた仲間を見下している自分ってかっこ悪いと感じだしました。話はそれますが、僕が薬物に手を出したのも、暴走族も暴力団も犯罪も切掛けは笑われるでしょうけどかっこいいからという理由です。だから本当はかっこいいとか悪いとかで判断するのは良い方法ではないのですがプログラム効果なのか良い方に作用したのでしょうか。「こいつら」から「仲間」に少しずつ変わっていきました。自分と違う仲間を理解しようと・・・しかしそれも難しかった。チーフになってすぐにやっつけられなくなって一度施設を飛び出しました。自分の回復も含め仲間の回復を感じれるのが楽しくなり始めた時期で、今後の方向性を決めた直後でしたが出鼻を挫かれる出来事が重なって・・・すぐ地元で電話しましたね。その時言われた事が「ダルクなんか行くからそうなるんだよ！」です。その時に僕が生き方を変える事を選べた事、かっこつけない方が楽に生きられる事、そう思えたのはダルクに来て仲間と一緒に馬鹿笑いしながらクリーンを重ねていったからだという事やここには書ききれない程の思いを知って欲しくなったのかな？「そう悪くないよ」って言いました。相手は受話器越しに戸惑ってましたけどね（笑）その日も色々なストーリーがありましたが最終的に僕の弱さ、過去の生き方に一瞬で戻ろうとするところ、変わりたい思い、ダルクと NA の居心地の良さとかを確認出来たし確認する機会も仲間のお陰で与えられてるって感じちゃいました。僕も含め個々の問題を抱えている仲間とリーンを伸ばす事で笑って生きていける事への実感、スリップした仲間には隣で一緒にやり直す事で僕がスリップしたとしても安心出来る場所だと確認しながら楽しんでます。これからも仲間と共に果てしない回復の道をゆっくり歩いていきたいな～と思う今日この頃です。

## 過去からの自分、将来の自分に向けて

依存症のユウ

こんにちは、暑くなってきましたがいかがお過ごしでしょうか？ニュースレターを書くのは、3 回目となりました野木のユウです。自分は施設に繋がりが約 2 年と 3 ヶ月になりました。初期施設で 8 か月を過ごし、野木の施設に移動して 1 年と半年が過ぎました。振り返ると色々な事がありましたがとても良い思い出になっています。

自分の本命はアルコールで若干、大麻や覚醒剤もはいつています。施設に繋がった当初は処方薬によれていて施設の中をはいつくばっていて歩く事もままならぬ状態で周りの仲間の人たちに助けてもらっていました。

過去の自分は一人暮らしの寂しさや、パートナーを失ってしまった悲しさを紛らわすために、過剰な程のアルコールを摂取し、時には、処方薬兼用して摂取した事もあり、当時には現実逃避するには、その方法しか思いつきませんでした。当然のことながら心身ともに悪くなる一方で入院生活もしましたが良くなる訳もなく退院しても、もとの黙阿弥でした。自分自身で気が付いた時にはすでに遅く施設に入る事となりました。

初期施設に繋がりが沢山の仲間の人たちと生活する事により、はじめはいろいろ分からないことも教えて頂いたり、アドバイスを受けたりと、今になって本当にありがたいと感じています。初めのうちは施設が嫌になったり、家族のことが心配で施設を飛び出したこともありましたが、そういうこともあって少しずつ自分の中の考え方変わったことも事実です。時間が経つにつれサポートの業務も与えて頂いたことによっても自分に少しずつですが自信もついてきました。今となっては本当に初期施設で学んだ事、そして仲間の方々の支えがあつての今の自分があると思っています。本当に仲間の人達がいなかったら自分はどうなっていたか分かりません。とても感謝しています。

ある時、施設長から移動の話を持ちかけられて初めは戸惑いしましたが、仲間の人達に相談したり、自分の中で考えた結果、移動の決意をして野木の施設に移りました。

野木の施設は建物も綺麗で環境もよく自分にあっているような感じがしました。

野木での生活は時間が過ぎるのが早くあつという間に一週間、一か月と過ぎて行く感じです。そこでも初期施設の仲間の人達や初めて生活する仲間と共に生活をするにつれやはり、いろいろな事を学び、昔とは比べ物にならないくらいに規則正しい生活を送れるようになったのには自分でも少し驚く位です。施設に繋がったのも何かの縁があつての事だと思い施設生活で学んだ事を将来にも役立てて行きたいと思っています。

今現在は、仲間の人達に囲まれて生活を送っていますが、やがては自立して一人で生活していく事となると思いますが、何かと施設での生活は役立つと思っています。

今自分は施設に繋がりが少しずつ幸せを感じていますし、考え方や行動にも変化が少しではありますが自分で気付いていどにあると確信しています。

こんな自分も少しずつ変わることが出来るし、新しく施設に繋がった人たちも今は嫌だったり、大変な思いをしている仲間の人達も自分のように前向きに物事を考えられたり、とらえられたりすることが出来ると思うので、一緒にお互い頑張って行きましょう。

一つずつ丁寧に歩いて行きましょう。みんなありがとう。

\*P.S.　読んでくれてありがとう。

## これまでの私

エミ

初めまして、薬物依存症のエミです。去年の 1 2 月 1 5 日に兵庫県神戸市の自宅で覚醒剤の使用、所持で警察に逮捕され、約 1 ヶ月留置所に入り、その後 3 ヶ月程、東京の精神病院に入院してからここへやって来ました。

兵庫県にある留置所へは、東京にすむ 7 2 才になる父が、車で 8 時間かけて面会に来たり迎えに来たりしてくれました。

私は、幼稚園、小学校、中学校、大学と全てエスカレーター式に行ける学校に入れられました。中学校まではうまくいっていました。中 3 の時に、失恋をきっかけに摂食障害になりました。そして勉強にうちこむようになり、そのままエスカレーター式に行ける大学が華美で派手でいやだったので外部の 4 年生大学へ進みました。本当は、もっと違う大学に行きたかったのですが母の勧めで推薦で行ける大学に決めました。第一志望ではなかったこともあり、大学での生活も途中から退屈になりうつ気味になってきました。それを見て心配した母親があちこちにかけずりまわっているんな心療内科に私を診ました。そこで出会ったのが「リタリン」という処方薬でした。そこからの私の「リタリン依存」が始まり、私は何件かの病院をかけもちして、大量のリタリンを手に入れ、鼻から吸引して使用しました。自暴自棄になり、リストカットや、精神安定剤の大量服薬などを繰り返しました。幻聴も聞こえてきました。そしてその幻聴を聞いてぼやっとしているうちに母親が末期ガンで亡くなってしまいました。死に目にも会えませんでした。この事実は今になって後悔してもしきれません。1 0 年たった今でも思い出して泣いてしまいます。

そしてこの直後に知り合ったのがこの後結婚して離婚することとなった人で、私に覚醒剤を教えた人でした。ちょうどその頃、法律が変わったかなにかで「リタリン」の処方がしてもらえなくなってしまうと、私は慢性的な飢餓感に苦しんでいまして。なので、覚醒剤は「渡りに船」という感じでした。初めてやったのは「あぶり」という方法でしたが、その時はあまり効果を感じられませんでした。注射を打ってもらった時は「さてと♪」という気分になったのは今でも覚えています。この頃、私は 2 0 代後半で、定職につかず、父からの仕送りで生活していましたが、覚醒剤のお金を無心するのは申し訳ないと思い、頑張って仕事を見つけました。携帯電話ショップでした。薬のおかげで、仕事はさほど苦にならず、人間関係も良好でした。旦那が覚醒剤で捕まってからというもの、私の覚醒剤の連続使用が止まらなくなりました。歯止めがきかなくなってしまったのです。当然、お給料だけでは全く足りず、毎月光熱費や家賃とプラスアルファ 2 0 万円くらいを父親に振り込んでもらう生活でした。この生活が、去年捕まるまでの間続きました。不思議と、覚醒剤を使っている期間は、摂食障害がピタッと止まっていました。

捕まる直前、幻聴が酷くて大変でした。そこで 7 年間続けた携帯電話ショップを辞め、近所にあった神戸ダルクヴィレッジに相談しに行ったり、精神病院に行ってみたりしました。練炭を買ったりもしました。ですが、そうこうしているうちに捕まってしまったという次第です。4 月 1 1 日にここに入寮したので今で 3 ヶ月目です。最初の 1 ヶ月は帰りたい気持ちが強くて、ここに居るのがとても苦しかったですが、父も私がここにいる方が安心できるんだと思うと、ここでの生活を頑張っていこうと思えるようになりました。

これからも、先行く仲間の力を借りて、回復に向けて頑張っていこうと思います。

# 6月にステップアップした仲間

1<sup>st</sup>

・該当者なし

2<sup>nd</sup>

・シマ　メンバー～サポートへ

3<sup>rd</sup>

・フユ　メンバー～リーダーへ

CF

・エビ　Stage1～Stage2へ

・ナガトモ　マサ　Stage2～Stage3へ

PP

・アキ　Stage1～Stage2へ

## 6 月の献金・献品

（献金）　足利更生保護女性会様、匿名者 1 名様

（献品）足利市更生保護女性会様、南那須保護区保護司会様、匿名者 2 名様

とても助かっており、栃木ダルクー同感謝しています。

## 献品のお願い

- ・修了予定者がこれからも数名いるので、日用品、家電一式、原付バイクその他自立して使用できるものがあればよろしくお願いします。
- ・事務用品（中古パソコン等）、あればよろしくお願いします。
- ・1<sup>st</sup> StageCenter からソフトボール用のグローブ、用品よろしくお願いします。
- ・CF から農機具関係（草刈機、農作業用品、トラクター）等あれば宜しくお願いします。
- ・PP から　自転車あればお願いします。

# お知らせと一言

- ・記録的な梅雨明けの速さで暑さが全開って感じですね。この文章を書いている時は、野木町の気温は 36° でこの夏で一番の暑さを記録しています。暑さ対策をしないと熱中症で倒れますね。皆様もお気をつけてください。

編集　秋葉

## 「過去と現在」

依存症のタケ

こんにちは、薬物依存症のタケです、読みにくい文章になってしまうかもしれませんが今回はぼくの体験談や感じた事を話します。

突然ですが初めて薬物を使ったのは16歳の夏の事でした。当時のぼくは中学でなまじ勉強が出来た事で高校を進学校に進学しました。入学した高校は皆優等生で、いたずら大好きなぼくには退屈で友人の輪から離れ自ら孤立していました。次第に学校も休みがちになり、自宅や数少ない友人の家に入りびたる様になりました。そんな日々の中、2つ年上の兄がぼくの部屋に入って来てマリファナがあるけど吸ってみる？と誘って来ましたが、好奇心からぼくは二つ返事で誘いに乗りました。初めて吸った時はキマるという感覚が良く解らなかったのを覚えています、回を重ねるうちにマリファナの持つ作用が解る様になっていき気が付いた頃にはハマっていました。

マリファナにハマってからのぼくの生活は一変しました。まず変わったのは付き合う人間が変わりました。お金と薬物を常にもっている先輩たちと付き合う様になっていき、何をするにもまずはキメてから、というのが常識になり、興味や感心事も他にどの様な薬物があってどの様な作用があるのかといった依存性的思考に変わっていききました。聴く音楽やファッションも変わり、マリファナを肯定的に歌うレゲエが好きになったり、ヒッピーの様なファッションを好む様にもなりました。

次々と新しい薬物に手を出してマジックマッシュルーム、LSD、MDMA、コカイン、脱法ハーブ、とあらゆる薬物に溺れて行くのにそう時間はかかりませんでした。

マリファナがゲートドラッグになるとは良く言ったものです。今までぼくの中にあつた「これはナシだろ」と言った倫理観は一瞬とも言える速度で崩壊しました。

そんな生活をしながらもぼくはギリギリで高校を卒業し東京の大学に進学しました。今思うと高校で送るべきいわゆる青春というものの記憶は一切ありません、悲しい事です。

大学に進学してからぼくの薬物乱用は加速して悪化しました。路上で脱法ドラッグを売りさばくバイトまでしていました。勉強そっちのけでバンドを組みラリった頭でセッションを楽しんだり、ライブハウスやクラブ巡りをし、まさに、今が良ければそれで良い、刹那的な生き方を続け、ついにシラフではいられない、シラフでいるとウツ状態になってしまう位にまで病気は進行してしまいました。

そんなぼくでも大学生活4年間を終え、就職する事を期に薬物一切を止める事に成功しました。依存する対象が薬物ではなく仕事に変わったのです。仕事は順調でした、2年目で中間管理職も任される様になりましたが、今思うとこれがいけなかった。役職からくる重圧に加え当時付き合っていた彼女の妊娠・出産・結婚と、人生の一大イベントが一度に重なり押し寄せてきました、そこで、影を潜めていた弱い自分が現れ、ストレスにたえきれずに薬物に逃れる昔のクセが再発しました。

そこでぼくが取った方法は昔慣れ親しんでいて、手っ取りばやく手に入る脱法ドラッグの使用でした。久しぶりに使用した脱法ドラッグの効き目は強烈なものでした。度重なる法規制で変化を続けた脱法ドラッグは以前に使っていた物とは全くの別もので身体に与えるダメージは深刻なものでしたから使用から3ヶ月程度でぼくは廃人同様になり仕事も出来なくなり、会社を辞め実家に帰る事になりました。

そうなった後も薬の使用は止まらず、様々なトラブルを起こし続け、精神病院の入退院を繰り返す事になり、処方依存にもおちいりました。大量の処方を一度に飲み病状は悪化し、家族も共に病んで行き、次第にぼくの居場所は無くなって行きました。

生きにくさもうどうにもならない所まで達し、ぼくは、栃木 DARC への入所を決断しました。この決断に至るまでにずいぶんと時間が必要でした。今、入所して2ヶ月半がたちます。入所したての頃は環境の変化から来るストレスの影響からか体調を崩してしまい、二週間で10kgもやせて、食べ物ものどを通りませんでした。仲間たちに支えられ体調も安定しました。多くのものを失い続けて来ましたが、もうこれ以上失う事はたくさんです。

施設での与えられた機会、時間の中で自分自身をもう一度見つめ直し、自分のペースで回復をしていこうと感じます。同じ傷を持つ仲間たちの中で。

#### 施設報告

1sc（導入）14名 2sc（回復）12名 3sc（後期・社会復帰）9名 CF（農業）10名 pp ピースフルプレイス（女性）13名計60名で活動しております。各々の施設でステージ事のプログラムを実施しております。